

令和3年度学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立国分寺高等学校学校運営連絡協議会（全日制課程）
 - (2) 事務局の構成 総務主任（事務局長）1名、総務部員1名 経営企画室長1名 計3名
 - (3) 内部委員の構成
校長・副校長・経営企画室長・教務部主任・生活指導部主任・進路指導部主任・
総務部主任・保健環境部主任 計8名
 - (4) 協議委員の構成
国分寺市教育委員会教育部社会教育課長・国分寺消防署戸倉出張所長・国分寺市立第五中
学校長・国分寺市立第六小学校長・国分寺市新町三丁目自治会相談役・東京学芸大学教授・
中央大学准教授・本校元PTA会長・PTA会長
- 計9名

2 令和3年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会

第1回

- ・日時：令和3年6月5日（土）／書面開催
- ・資料内容：校長挨拶、学校経営計画、学校経営報告、分掌からの報告等

第2回

- ・日時：令和3年10月9日（土）／書面開催
- ・資料内容：各分掌からの報告等、学校評価アンケートの内容検討

第3回

- ・日時：令和4年2月5日（土）／書面開催
- ・資料内容：分掌からの報告等

(2) 評価委員会

第1回 令和3年6月5日（土）／書面開催

- ・資料内容：委員長の選出、前年度学校評価報告書

第2回 令和3年10月9日（土）／書面開催

- ・資料内容：今年度の学校評価の観点・項目・内容・実施対象の検討

第3回 令和4年2月5日（土）／書面開催

- ・資料内容：アンケート集計結果分析、学校評価報告、来年度への提言

3 学校運営連絡協議会による学校評価

(1) 学校評価の観点

- ・生徒の学校生活に対する意欲及び学校教育活動に対する満足度
- ・教員・保護者の学校教育活動に対する理解・満足度
- ・地域住民（近隣小中学校児童と生徒の保護者・近隣住民）の本校及び本校生徒に対する理解・評価

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

- ・11月 本校生徒 対象：946名 回収率：79%
- ・11月 本校保護者全員 対象：946名 回収率：65%
- ・11月 教職員 対象：61名 回収率：61%
- ・11月 近隣小中学校児童と生徒の保護者・近隣住民 対象：177名

(3) 主な評価項目

- ・生徒に対して…教育目標、進路指導、部活動・学校行事、施設設備、交通マナー、いじめ・体罰について
- ・保護者・教員に対して…学校運営、学習活動、進路、学校生活、いじめ・体罰、ライフ・ワーク・バランスの推進について
- ・地域住民に対して…進学指導、部活動・学校行事への参加、防災訓練、奉仕活動、交通安全指導について

(4) 評価結果の概要

- ① 生徒については、4点満点のアンケートで、20項目中で評価値が高い（3.5以上）のは、「学校生活は楽しく充実」、「学校は伝統・校風を継承」、「生活指導の順守」、「進路実

現の科目の充実」、「進路の個人面談機会の充実」、「部活動に積極的」、「学校行事に積極的」、「クラス活動に積極的」、「交通ルール・マナーの遵守」の9項目である。特に「交通ルール・マナーの遵守」は昨年度よりも大幅に上昇した。また、評価値が低い(2.9以下)のは、「教室・施設の良い整備」のみである。

- ② 教員と保護者については、おおむね昨年度並みであった。20項目中で、保護者の評価値が教員より高いのは8項目、低いのは10項目であり、いずれも昨年度と同数である。
- ③ 地域については、昨年度と比較して、「地域に開かれた活動」、「防災訓練共催で効果」及び「交通ルール・マナーを遵守」で評価値がやや上昇し、「進学指導重視で成果」、「交通安全活動に積極的」ではやや低下した。全体としては、評価値に大きな変化はなかった。なお、例年懸案となっている「交通ルール・マナーを遵守」の項目が0.2ポイント上昇している。

(5) 評価結果の考察

- ・生徒については、ここ数年、全体的に評価値がゆるやかに上昇していたが、今年度は若干下降した。もはや三学年とも、コロナ禍の制限された学校生活が大半を占めるようになっており、充実した高校生活を送れていない状況が表れていると思われる。そのような中でも生徒は工夫して頑張っており、平均値が3.0以上の項目がほとんどであることを、むしろ評価すべきではないだろうか。また、「交通ルール・マナーを遵守」が大幅に上昇したことは、生徒の意識が改善されていることの表れであろう。そのほか、「教室・施設の良い整備」の項目が唯一3.0ポイントを下回った。この項目は従来から低い傾向にはあったが、ここ1～2年で、体育館のエアコン設置、校内Wi-Fiの整備、清涼飲料水等の自動販売機の増設など、かなり環境は向上している。にもかかわらず、昨年度よりも0.3ポイント下降しているのは、自由意見を参考にすると、特別教室のエアコン未設置や経年による老朽化等が原因と思われる。この課題については、継続的に少しずつ改善していくしかないであろう。
- ・保護者と教員の評価値は、おおむね昨年度並みであったが、保護者評価値が教員より低い項目も昨年度と同数の10項目あり、従来からの課題であった保護者と教員との溝が、依然として存在している。特に、「授業内容への個別支援の充実」、「進路・個人面談機会の充実」、「進路指導で保護者と連携」の3項目に関しては、昨年同様に平均値の差が大きく、来年度への提言の重要な観点となった。
- ・地域については、おおむね昨年度並みであった。ここ数年懸案となっていた、「交通ルール・マナーを遵守」に関して、0.2ポイント上昇しているのは、生徒アンケートの結果と合わせて、改善されている兆候が表れていると言える。しかし、自由意見においては、同内容についての厳しい意見も多く、まだまだ改善すべき課題であることにはかわりない。より地域の方々に迷惑をかけず、貢献できるようにしていく必要がある。
- ・今年度から、学校のICT環境が整備されたことと、コロナ禍での接触をできるだけ避けることを要因として、従来の紙ベースのアンケートから、アンケート作成アプリを利用したオンラインアンケートに切り替えた。ただし、地域の方には、オンラインよりも紙のほうがやりやすいという人も多いであろうことを考慮し、紙とオンラインとどちらでもできるようにした。その結果、予想されたことではあるが、全体の回収率が大幅に下降した。オンラインで回収率を上げることが、次年度以降の課題と言える。
- ・以上のことから、来年度の提言は、「保護者と教員の相互理解を一層深める」が主目標となり、「地域住民の方に開かれた学校をめざし、地域に貢献する」及び「校内の施設・設備の改善を継続する」がその他の目標となった。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題(学校評価を含む)

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・今年度は、コロナ禍のために一度も実施ができず、すべて書面での開催となった。アンケートからも、学校の状況や取り組みが外に伝わっていない現状が伝わってくるが、感染予防のためには致し方ない部分もある。そのいっぽうで、学校のICT環境は良くなってきており、

Web 上での情報発信が大幅に増加した。新しい時代の学校のあり方、保護者や地域の方々の関係を構築する端緒にはなった。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・生徒の自転車マナーの向上に意欲的に取り組んでいるが、残念ながら、まだまだ地域の方々に認知されておらず、また、学校や生徒の努力も足りないことが明らかになった。今後も引き続き、生徒への指導を続けていく必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

- ・「進学指導特別推進校」として、家庭学習習慣の確立および進学実績の向上に向け、入学時学習オリエンテーション週間の実施、大学出願指導研究会を7月・12月の2回実施した。

(2) 学習活動

- ・土曜授業の実施、長期休業期間の始期変更により、年間の授業時間を十分に確保した。冬期集中セミナーを実施した。長期休業中の補習・補講を実施した。

(3) 生活指導

- ・交通安全対策として、危険ポイントに安全指導員を配置し、交通安全指導を行った。また生徒による交通安全教室を実施し、地域住民の協力を得た。

(4) 進路指導

- ・進路指導3カ年計画に従い、実力テスト・学力診断テスト・実力判定テストなどを実施し、その分析会を実施するとともに、定期的な学年別の進路通信発行等により、受験に対する早めの動機付けと迅速な情報提供を行った。
- ・きめ細やかな個別指導実施に向け、大学出願指導連絡協議会を2回実施した。
- ・保護者との連絡を密にし、三者面談などを通じて情報の提供と個別の進路指導をより充実させた。

(5) 保健指導

- ・スクールカウンセラーによる新入生全員面談、生徒・保護者・教職員対象のカウンセリング、精神科医による研修会、生徒対象の保健学習会を実施するなど、健康教育の推進・保健管理の徹底を推進した。
- ・「ゴミの減量・分別・リサイクル」の標語のもと、紙のリサイクル運動に取り組んだ。

(6) 総務

- ・消防署と共同で防災訓練を実施した（コロナ禍により地域の方とは実施できず）。
- ・進学指導特別推進校としての実績を上げるため、校内研修を充実させた。
- ・学校説明会を複数回開くだけでなく、Web上の情報発信を大幅に増やしたため、コロナ禍にあっても、受験生やその保護者が情報を得られるように改善した。
- ・ホームページを通じて中学生のための催しや本校の教育活動を紹介した。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
2	1				1	5

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

- ・参加実績 なし

8 その他

- ・特記事項なし